



2019年3月8日

各 位

会社名 イメージ情報開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 代永 衛  
(コード番号 3803 東証JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役経営管理室長 佐藤 将夫  
(TEL 03-5217-7811)

(訂正) 「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年2月5日に開示いたしました「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2019年3月8日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 衛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐藤 将夫 TEL 03 (5217) 7811  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	977	65.6	36	-	△64	-	△71	-
27年3月期第3四半期	590	5.1	△99	-	△203	-	△161	-

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △72百万円 (-%) 27年3月期第3四半期 △172百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△42.70	-
27年3月期第3四半期	△96.70	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	873	528	60.5	317.05
27年3月期	917	589	64.3	354.01

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 528百万円 27年3月期 589百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,253	45.7	69	-	60	-	33	-	19.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、平成28年2月5日に開示いたしました「営業外費用および特別損失の発生ならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社アンダース  
（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	1,780,000株	27年3月期	1,780,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	113,629株	27年3月期	113,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	1,666,380株	27年3月期3Q	1,666,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記により記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景として緩やかな回復基調が続きました。一方、中国を始めとする新興国等の景気の下振れ懸念や、原油価格下落の影響により、今後の景気動向は不透明な状況となっております。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、企業のIT投資が堅調に推移しております。

このような環境の中、商品販売分野が大幅に増加したことにより、当第3四半期連結累計期間において、売上高は977,903千円(前年同期比65.6%増)となりました。

また、売上高の増加、原価率の改善、及び、コスト削減等により、営業利益は36,199千円(前年同期は営業損失99,825千円)となりました。営業外費用として株式会社北栄の債権等に対し、貸倒引当金繰入額を105,798千円計上したことから、経常損失は64,270千円(前年同期は経常損失203,860千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は71,152千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失161,147千円)となりました。

このような状況において、当社グループは、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等により新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は414,589千円(前連結会計年度末比187,309千円減)となりました。これは主に、短期貸付金が249,173千円減少したことによるものです。

固定資産の残高は458,807千円(前連結会計年度末比143,448千円増)となりました。これは主に、長期貸付金が250,355千円増加したことによるものです。

これにより総資産の残高は873,397千円(前連結会計年度末比43,861千円減)となりました。

流動負債の残高は213,619千円(前連結会計年度末比11,219千円増)となりました。これは主に、短期借入金が35,700千円減少しましたが、買掛金が45,668千円増加したことによるものです。

固定負債の残高は131,449千円(前連結会計年度末比6,520千円増)となりました。

これにより負債の残高は345,069千円(前連結会計年度末比17,739千円増)となりました。

純資産の残高は利益剰余金の減少70,445千円等により528,327千円(前連結会計年度末比61,600千円減)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、本日(平成28年2月5日)開示いたしました「営業外費用および特別損失の発生ならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社アンダースの株式の一部を売却したことにより、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映される方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は9,257千円増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が9,257千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,011	136,119
受取手形及び売掛金	<u>253,458</u>	<u>250,158</u>
商品	425	444
仕掛品	4,030	1,706
貯蔵品	282	293
短期貸付金	273,361	24,187
その他	22,221	<u>20,106</u>
貸倒引当金	<u>△1,891</u>	<u>△18,426</u>
流動資産合計	<u>601,898</u>	<u>414,589</u>
固定資産		
有形固定資産	26,041	34,392
無形固定資産	38,345	30,758
投資その他の資産		
投資有価証券	81,516	81,471
長期貸付金	152,802	403,157
その他	<u>37,461</u>	<u>34,413</u>
貸倒引当金	<u>△20,807</u>	<u>△125,385</u>
投資その他の資産合計	<u>250,972</u>	<u>393,657</u>
固定資産合計	<u>315,359</u>	<u>458,807</u>
資産合計	<u>917,258</u>	<u>873,397</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,182	98,851
短期借入金	65,700	30,000
1年内返済予定の長期借入金	6,581	—
未払法人税等	951	10,428
賞与引当金	23,787	13,738
その他	52,197	60,602
流動負債合計	<u>202,400</u>	<u>213,619</u>
固定負債		
長期借入金	499	—
退職給付に係る負債	104,495	111,738
その他	19,934	19,710
固定負債合計	<u>124,929</u>	<u>131,449</u>
負債合計	<u>327,329</u>	<u>345,069</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	510,270	519,527
利益剰余金	<u>△291,909</u>	<u>△362,355</u>
自己株式	<u>△95,771</u>	<u>△95,810</u>
株主資本合計	<u>589,638</u>	<u>528,411</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289	△83
その他の包括利益累計額合計	<u>289</u>	<u>△83</u>
純資産合計	<u>589,928</u>	<u>528,327</u>
負債純資産合計	<u>917,258</u>	<u>873,397</u>



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	590,569	977,903
売上原価	478,324	771,885
売上総利益	112,245	206,018
販売費及び一般管理費	212,070	169,818
営業利益又は営業損失(△)	△99,825	36,199
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,910	2,297
立退料収入	—	2,000
その他	2,172	1,292
営業外収益合計	7,083	5,589
営業外費用		
支払利息	586	175
持分法による投資損失	106,589	—
貸倒引当金繰入額	3,202	105,798
その他	739	86
営業外費用合計	111,119	106,059
経常損失(△)	△203,860	△64,270
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,256
投資有価証券売却益	11,309	—
持分変動利益	2,728	—
受取和解金	28,967	—
特別利益合計	43,005	3,256
特別損失		
減損損失	3,300	2,401
その他	521	—
特別損失合計	3,821	2,401
税金等調整前四半期純損失(△)	△164,676	△63,415
法人税、住民税及び事業税	1,262	8,479
法人税等合計	1,262	8,479
四半期純損失(△)	△165,939	△71,895
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△161,147	△71,152
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,791	△742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,688	△372
その他の包括利益合計	△6,688	△372
四半期包括利益	△172,628	△72,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167,836	△71,525
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,791	△742

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。